



日本調剤 様

http://www.i3-systems.com/case_nihoncyozai.html

創業以来、医師と薬剤師がそれぞれの専門家として、明確な役割分担と強固なチームワークを持って患者さまをサポートする「真の医薬分業」を企業理念として掲げ、日本全国に400を超える店舗を展開される日本調剤様。iPadを業務で活用するお取り組みについて、お話をお伺いしました。
(取材：2012年5月)

導入サービス

CLOMO MDM

CLOMO MOBILE APP PORTAL

企業情報

- ・1980年3月設立
- ・保険調剤薬局チェーンの経営
- ・従業員数2,112名
- ・www.nicho.co.jp



システム部
課長
小宮 様



システム部
俣田 様

グループに応じて異なるポリシーを CLOMO で管理

課題

- ・店舗向け・社内向け等、用途ごとに異なるポリシーを適用したい
- ・グループごとに配布するアプリを管理したい

解決方法

- ・CLOMO MDMでデバイス管理
- ・CLOMO MOBILE APP PORTALで社内アプリを配布



業務効率化と新たな社会的ニーズ
に應えるため

ー iPad 導入の経緯をお教え下さい

小宮さま：今回iPadを導入するに至った理由としては、大きく2つあります。ひとつは、現在社内で行なわれている業務をより効率的なものとするため、もうひとつは、新たな社会的ニーズとして高まりを見せる在宅医療や介護施設などの「店舗外」での医療の必要性に、医薬品の専門家として応えるためです。

まず、業務効率化という点では、これまで携帯電話と、モバイルPCを社員には配布していたのですが、携帯電話では売上データなど、最新のPDFファイルを閲覧できず、またモバイルPCでは携帯

性に欠け、起動にも時間がかかり不便を感じていました。その点iPadは、携帯性に優れ、かつ様々なドキュメントデータをすぐに閲覧することができるため、携帯電話とモバイルPCでは埋められなかった領域を補完できるのではと考えました。

また、日に日に重要性を増す在宅医療の現場で、「店舗の外に出た薬剤師」が薬剤管理や服薬方法などの指導に必要な情報をすぐに閲覧できるよう、専用のアプリを開発しました。残薬管理などのためのデータ入力も可能となっており、店舗の中にいるのと変わらない情報アクセシビリティを保てるように配慮しています。



セキュリティ面と画面サイズで
iPadを採用

ー デバイスの選定はどのように行われたのでしょうか？

小宮さま：デバイス選定時のポイントは3つ、携帯性の高さ、ディスプレイの大きさ、そしてセキュリティです。ディスプレイの大きさが必要なため、当初からスマートフォンではなく、iOSおよびAndroidのタブレット端末を検討対象として選定を進めました。その上で、企業で求められるセキュリティレベルを十分に担保できる仕組み（MDM）が用意されている事などを総合的に評価し、iPadを採用する事にしました。

デバイスの利用用途に応じて
CLOMOで管理

ー デバイス選定段階から MDM も併せて検討されていたのでしょうか？

小宮さま：はい。スマートデバイスは携帯性が高く手軽に持ち運ぶ事ができるため、

どうしても盗難・紛失のリスクが高まってしまう。そのため、遠隔でデバイスを一元管理できるMDMは必須のサービスであり、デバイス導入計画の一部として、情報収集・サービスの選定を行いました。様々なセミナーに参加し、MDMについて情報を収集したのですが、国内最速でサービスを開始され、非常に多くの導入事例を公開し、Apple社の技術動向に詳しい貴社のCLOMOを選択しました。

ー CLOMOを使ってどのようにデバイスを管理されているのでしょうか？

俣田さま：現在は、実際にデバイスに触れてもらいながら新たな可能性を見出そうとしている段階であり、アプリのインストール等は比較的自由に行えるようにしています。あまり制限をかけ過ぎると「iPadらしさ」が失われてしまうため、最低限のセキュリティとしてパスコードの強制や、緊急時のリモートロック / リモートワイプを設定しています。一方、在宅医療向け用途として薬剤師に配布し

ているiPadでは、専用アプリのみの利用を想定し、一般アプリのインストールの禁止などの設定プロファイルを、MDMを使って適用しています。

CLOMOでは、組織ごとにプロファイルの自動適用が可能のため、社内の複数のグループに異なるルールを適用し、スムーズに運用できています。また、社内アプリの配布にはCLOMO MOBILE APP PORTALを利用していますが、機能アップデートで、アプリごとに公開先の組織・部門を選択できるようになると、より安全に、かつより効率的な運用が実現すると思っています(笑)

※ 2012.07.17のアップデートで機能追加されました

どのようなお客様にも「分かる」を目指して

ー 今後はどのような展開をお考えでしょうか？

小宮さま：従来、調剤薬局では、薬剤師により紙ベースでの疾患啓発やチェック及び受診勧奨が行われていましたが、より効果的な意識付けが課題となっていました。現在、弊社では、店舗に来店される方に、COPD（慢性閉塞性肺疾患、以下COPD）の疾患啓発・チェックが可能なアプリをiPadにインストールし、店舗で導入試験を実施しています。マルチタッチでの直感的な操作感とあわせて、動画やアニメーションを効果的に活用し、高齢者の方々にも「分かりやすい」医療を提供したいと考えています。今後も、セキュリティと使い勝手とのバランスを取りながら、より手厚いサービスをご提供できるようiPadの活用方を模索していきたいと考えています。

その他導入事例はこちら ▶ <http://www.i3-systems.com/case.html>



CLOMO 全製品 30 日間無料トライアル実施中

<http://www.i3-systems.com>

お問い合わせ先